2017 / 7 / 30 岐阜新聞

崇 睄

えからだ。 地域に貢献したいという考 材を」という思いに加え、 看目。原皮は卸会社の高山 材を使いたいと、飛騨牛に 八れる。「素性の分かる素 木材のほかにも身近な素

は自ら地元の木材市場で仕

P

の家具を手掛ける。

ナラ材

供給を受ける。同社は主に 化成(高山市冬頭町)から

た。 ら届いたばかりのヒダレザ いい表情をしている」。27 所などの注文を受け、住宅 庫県姫路市の製革工場か 日、牧野さんは工房「マキ ーを広げ、満足そうに語っ ノウッドワークス」で、兵 工房では、主に設計事務 想像以上の出来栄え。

などに活 用

子やソファを製作する。「飛騨の地で の資源を生かした新たな展開に意欲を しかできない家具を作りたい」。地域 た。地元産のナラ材と組み合わせ、椅 ather(ヒダレザー)」を開発し 松久高利 飛騨牛の処理・加工を行う JA飛騨ミート」 飛騨 (同市

使う。3人掛けのソファに おおむね3頭分が必要とい

が、ひと

製造、販売している。 ランドセルや小物類などを 八日町)から原皮を仕入れ、 牧野さんは第1弾として

飛騨牛の生産農家から製

牧野泰之さん(47)=同市清見町藤瀬=

「飛騨牛」の革「HIDA Le

山市一之宮町に工房を構える家具職人

革のブランド価値も高めたい―。 高

発にこぎ着けた。 なめすなど加工を施し、開 植物に含まれるタンニンで 市の製革工場に持ち込み、 今春に10頭分を購入。 姫路 く伝える予定。「飛騨牛ブ

翼を担えれば」と話してい ランドの価値を高める を取材した映像も作り、 革工程、家具の利用者まで

り、客2人のソファなどに 今回は黒と茶の2色を作

レザー」を確認する牧野泰 マキノウッドワークス 之さん = 高山市一之宮町 製革業者から届いた「ヒダ た上で、第2弾に反映させ 合いの変化などを検証し 成を目指す。使い勝手や色 を始めており、8月中の完 う。既に木部などは製作